

R7年度

明海中学校 研究計画について



昨年度の研究の成果と課題

成果

- ・ 自己内対話の実践から自己決定力の向上
- ・ 体験的な活動が大切

課題

特別活動、総合的な学習の時間を中心に自己決定や体験的な活動、人との関わりを通して学ぶ活動が必要

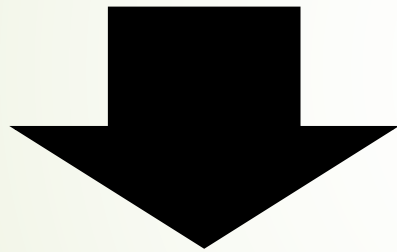
研究主題

**自ら答えを見出し実践できる生徒の育成
(問題発見・解決能力の育成)**

～**特別活動・総合的な学習**の時間を核として～

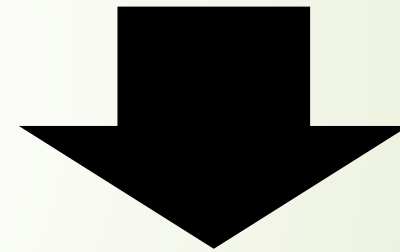
2年計画で特別活動及び総合的な学習の時間を軸に検証

特別活動



SEL

総合的な学習の時間



PBL

PBL(Project Based Learning)

プロジェクト型学習





PBL（プロジェクト型学習）とは

- 問題解決型学習、または、課題解決型学習などとも呼ばれる。PBLで取り組む問題は実社会に即したものであり、それらの解決策を考察することで問題解決能力や思考力を育成する。

PBLは探究学習の手法の一つ

- ▶ PBLはグループでゴールを共有し、ゴールに向けて課題解決を探究的に取り組む
- ▶ 学習の基本的な流れ



基本的な流れについて



- ・ 収集 ⇒ 様々な情報から読み取る、取捨選択、整理
- ・ 編集 ⇒ 見方、考え方を生かした思考、表現、分析、まとめ
- ・ 発信 ⇒ 伝える相手を明確にする
- ・ 評価 ⇒ 評価物を作成し、どう地域社会やその他大勢に伝え、役立てられるか

情報活用型プロジェクト学習 単元デザインシート

ア学年・教科: 高1 国語 ウプロジェクトのミッション (授業+学習がめざすこと・目標意識) 英語・科学・アートの融合	イ単元名: 英語 エ期待する成果物 (どんな内容どんな表現手段で?) デザイン (動画) の制作 パワーポイント パフォーマンス
---	---

オ、観察 (観察・観察) カ、編集 (編集・分析) キ、発表 (発表・発表)

① 企画  ① 企画づくり 企画書・企画書 企画書・企画書	② 収集  ② コレクション 動画・写真 動画・写真	③ 整理  ③ 整理 動画・写真 動画・写真	④ 収集  ④ インタビュー 動画・写真 動画・写真	⑤ 編集 (整理・分析)  ⑤ 編集 動画・写真 動画・写真	⑥ 編集 (整理・分析)  ⑥ 関連づけ 動画・写真 動画・写真	⑦ 編集 (発表)  ⑦ 表・グラフ 動画・写真 動画・写真	⑧ 編集 (発表)  ⑧ 動画 動画・写真 動画・写真	⑨ 発表  ⑨ 発表・公開 動画・写真 動画・写真	⑩ 評価  ⑩ 振り返り 動画・写真 動画・写真
--	---	---	---	---	---	---	--	--	---

ク 情報活用能力 (口頭発表 〇評価) □ 資料を適切に活用して発表する (和1) ○ 資料を適切に活用して発表する (和2) サ 課題への出会いの力・意/他の編集・志願書 制作 制作 制作 制作	ク 情報活用能力 (口頭発表 〇評価) □ 資料を適切に活用して発表する (和1) ○ 資料を適切に活用して発表する (和2) シ 単元の指導事項・ツール・目標のしがい 制作 制作 制作 制作	コ 情報活用能力 (口頭発表 〇評価) □ 資料を適切に活用して発表する (和1) ○ 資料を適切に活用して発表する (和2) ス 共通の道・振り返りの材料・思い 制作 制作 制作 制作
13) 評価	14) 評価	15) 評価

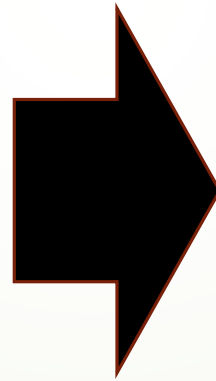
SEL(Social and Emotional Learning)

社会性と情動の学習



Q. 中学校卒業までに児童生徒に身につけてほしい力はなんですか？

- ①聴く（聞く）力、話す力、表現力
- ②認知力（自分のこと、相手のことを理解する力）
- ③自己コントロール力、粘り強さ
- ④規律力
- ⑤主体性、自己決定力、自己実現（目標）に向かう力
- ⑥人間関係力、コミュニケーション協働、協力
- ⑦思いやり、優しさ、気遣い



SEL

(Social and Emotional Learning)

1. 自己への気づき
2. 他者への気づき
3. 自己のコントロール
4. 対人関係
5. 責任ある意思決定

SELの重要性を提唱し始めたアメリカのNPO団体CASELは、育成を目指す社会的能力を次の5つに位置づけており、これらはCore 5（コア・ファイブ）とも呼ばれている。

【SELで育成を目指す社会的能力】

1. 自己への気づき
2. 他者への気づき
3. 自己のコントロール
4. 対人関係スキル
5. 責任ある意思決定



6. 生活上の問題防止のスキル
7. 人生の重要事態に対処する能力
8. 積極的、貢献的な奉仕活動

自分の感情に気づき、コントロールしよう

組 番 名前 _____

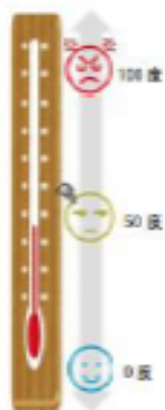
1. イライラを感じたとき、自分はどんな顔になるだろう？自分の体にはどんな反応があるだろう？あてはまるものを○で囲もう。

何も言わず黙る
大きい声を出す
物に当たる
その場から離れる
手に力が入る
胃が痛くなる
暴言を言う



手が出る
頭が熱くなる
口の中が乾く
心臓がドキドキする
呼吸が早くなる
手が震える
汗が出る

2. 次の場面を想定して自分のイライラを分析しよう。(学校生活に限定せずに考えましょう)



①今からやろうと思っていたことを「早くやりなさい!」と言われた。		
イライラの 温度	心や体の反応	その時どうする?
②仲間の声かけたり、指示を出したりしているのに、全然聞いてくれなかったり協力してくれず、文句を言われた。(その役割を自分がやっているという前提で考えましょう)		
イライラの 温度	心や体の反応	その時どうする?
③自分の思い通りにならない、自分の思い通りに物事が進まないとき。		
イライラの 温度	心や体の反応	その時どうする?

3. イライラをコントロールして良好な人間関係を築けるようになろう。

深呼吸をして数秒待つ	イライラの感情が現れたときに、その場で深呼吸し、イライラが収まるまで数秒待ちましょう。すぐに感情を出してしまうと人を傷つけてしまうことが多いです。
イライラのポイントを確認	相手の立場になって考えると、イライラする必要がなかったということもあります。感情をすぐに出すのではなく、冷静に考えましょう。
攻撃的でない言葉で話す	上げ足をとったり、冷やかしたり、バカにしたり、また文句を言って攻撃、排除するような発言で終わらせるのではなく、冷静に会話をしましょう。
睡眠を十分にとる	睡眠を十分にとれていると冷静な判断ができたり、気持ちが前向きになります。その状態で感情をコントロールする方法を実践しましょう。
どんなときにイライラの感情が出るか、自分を理解する	自分がイライラを感じる状況を理解することで、事前に対処する準備ができます。
自分を癒せることをする(ストレスマネジメント)	感情をコントロールするために、自分を癒せることを見つけましょう。「好きな映像を見る、お風呂にゆっくり入る、好きなものを食べる」など、人を傷つけたり物に当たったりしない方法を身につけましょう。

4. その場でできるイライラへの対処法を考えよう。

- 例 ①リフレッシュ ⇒ 3秒深呼吸(ゆっくり息を吐くことを意識する)。
②人に話をする ⇒ 相手を攻撃したり悪く言うような共感逆効果! 冷静に話を聞いてくれる人に。
③会話の方法を身につける ⇒ イライラを暴力や強い言葉で攻撃するのではなく、相手に気持ちや考えを上手に伝える方法を身につける。
④視点を定める ⇒ 何で? どうして? 相手の立場になって考えてみる。

自分に合う対処法は・・・

実際にやってみよう!

やったときの気持ちの変化や効果など	相手はどう感じたか

5. これからイライラをコントロールできるようにするために、どんなことを実践していきますか? 自分のことでわかったことや感想をもとに書きましょう。

ストレスって知ってる？

「ストレス」って言葉、聞いたことがありますか？最近テレビや雑誌でよく使われている言葉ですよ。みんなも「ストレスがたまるとなあ」なんて友達と話したりしていませんか？でも、「何となく知っているけど、説明してって言われたらうまく言えないなあ…」なんて人も結構多いのでは？そんな「知っているけど、くわしく知らないストレス」について考えてみましょう。

どうしてストレスの話をなんかするの???

「ストレスのこと、確かによく知らないけど、そんなに困っていないよ」なんて言う人はいませんか？自分のストレスについてきちんと知ることは、ストレスのことで悩んでいる人はモチロンのこと、「今は別に困っていないよ」という人にも大切です。何故なら、全然ストレスを感じない人なんていないし、自分のストレスを知ることで、今よりもっと気持ちよく毎日過ごすことが出来るからです。ストレスに強い自分になって、悩みなんかふっとばせ！！

「ストレス」というモンスターを退治するために、まず「知識」のレベルアップをしてから、最後に直接ストレスをやっつけるためのテクニックを身につけよう！

ストレッサーとストレス反応って？

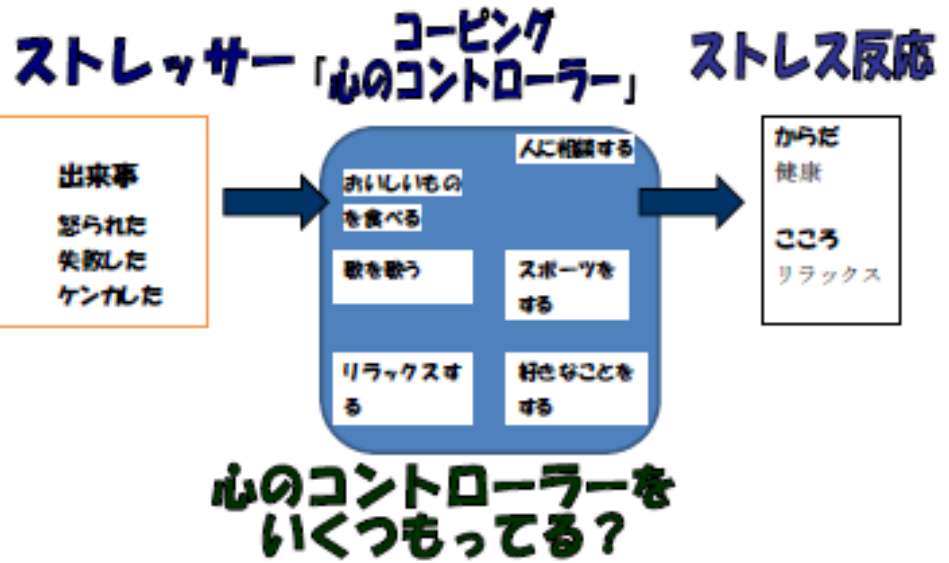
ストレスには原因がありますね。例えば「お母さんに怒られた」とか「友達とけんかした」とか単に「おなかがついている」「暑い」なんてこともありますね。この、「ストレスの原因」のことをストレッサーと言います。そうゆう様々な原因で「イライラしたり」「不機嫌」になったり、時には「頭やお腹が痛くなったり」することもあります。これがストレス反応です。



ストレスに強くなろう！

ストレッサーとストレス反応については理解できましたか？原因と結果だと思えば分かりやすいでしょう。ところで、同じようなストレッサーがあっても、人によってストレスの感じ方は違います。すごく困ってしまったり、イライラしたりする人もいるし、全然平気だったり、あまりストレスだと感じない人もいます。ではどうしたらストレスに強い人になれるでしょうか？考えてみましょう。

ストレスに上手に対応して、ストレスを乗り越えることが大切です。あなたは嫌なことがあった時、どうやってストレスをなくそうとするかな？？ストレスの対処法のことをコーピングと言います。同じようにストレスを受けても、コーピング(心のコントローラー)の働きで、ストレス反応は変わってきます。心も身体も元気になるためにも「心のコントローラー」をたくさんもっていると良いですね。



あなたはストレスを感じたときに、どんなことをしてストレスを撃退していますか？「怒って物をこわす」「人に当り散らす、悪口を言う」なんて友達や周りの人を傷つけたり、迷惑をかけたような方法でストレスを発散していませんか？その方法では、友達や周りの人とうまく付き合っていくにはいけませんよ！

もっとみんなに迷惑がかからずにストレスを撃退する方法「心のコントローラー」をたくさん考えてみましょう。「心のコントローラー」はゲームのコントローラーのように自由自在に心をコントロールするものです。「イライラ」や「ドキドキ」、「イヤだなあと思う気持ち」をコントロールして、「楽しいなあ」「うまいきそうだ」「平気だよ」って気持ちになるためにどんな方法があるかを考えてみましょう。

魔法の呼吸をマスターしよう

自分の体と心をリラックスさせると、どんな効果があるのでしょうか。

- ① イヤな気持ちがなくなる:イライラ、不安、気分の落ち込みなど、ストレスを感じているときの「イヤな気持ち」をなくしてくれます。つまりストレスの攻撃から身を守り、逆に撃退するのです。
- ② 頭がうまく動くようになる:心と身体をリラックスさせると、頭がスッキリ、ハッキリします。勉強中やテスト前などは、自分で気がつかなくても、心や体に力が入って緊張しています。その結果、落ち着いて、集中して頭を活動させることが難しくなってしまいます。
- ③ 身体がうまく動くようになる:なかなか眠れない、いつも頭が痛い、緊張するとすぐにトイレに行きたくなる…こんなことはありませんか？体や心が緊張していると、このように身体がうまく動かなくなります。入りすぎた力を抜いてリラックスすると、このような問題が解決できます。

魔法の呼吸

魔法の呼吸のやり方

呼吸法の前に:身体力を抜いて、椅子に深く座る。次に両手をお腹に当てて、

じんわり手の温かさを感じる。(10秒ほど)

やり方:1,2,3,4でお腹がふくらむように鼻からゆっくり息を吸う。

一瞬止めて、今度は口から細く長く息を吐く。5,6,7,8,9,10

この時、身体のモヤモヤした感じが外に出て行くようなイメージで息を吐く。

(心の中で、「モヤモヤ出て行け」とか「イライラ無くなれ」などストレスが身体の外に出て行くような言葉をかけると良いかもしれない)

頭の中で、自分の好きな場所や好きなことをしているイメージを思い浮かべるともっと良いでしょう。

ストレスの感じ方は 考え次第かも！



ストレスを強める考え・言葉

- 1、 ぜったいに、〇〇〇だ。
- 2、 いつも、〇〇〇でなくちゃ。
- 3、 私(ぼく)には無理だ。どうにもできない。



ストレスを楽にする考え・言葉

- 1、 もしかしたら、思い込みかもしれない。
- 2、 たまには、〇〇〇じゃなくてもいいじゃない。
- 3、 大丈夫、きっと、どうにかできるはずだ。

考え次第でストレスを楽にできるよ！

リラクゼーションタイム

あなたの特別な場所

始める前に：椅子に座って、姿勢を正してください。手はひざの上におきましょう。気楽に落ち着いて、そして静かにしましょう。では、そっと目を閉じて下さい。

1、腕のリラクゼーション

- ① 両手のゲンコツを力いっぱいにぎりしめます(7秒)
- ② 入れた力を一気に抜いて、手の感触を感じます(10秒)
- ③ 両手のゲンコツをにぎって、両うでを胸の前で交差して身体の力いっぱい押し付けます。
- ④ 次に、肩を思いっきりすくめましょう。(7秒)
- ⑤ 入れた力を一気に抜いて、手・腕・肩の感触を感じます(10秒)

2、足のリラクゼーション

- ① つま先に力を入れて、両足を力いっぱいくっつけます(7秒)
- ② 入れた力を一気に抜いて、足の感触を感じます(10秒)

3、顔のリラクゼーション

- ① 両目を力いっぱいつむります(7秒)
- ② 入れた力を一気に抜いて、目の周りの感触を感じます(10秒)
- ③ 歯をかみしめて、口を力いっぱい閉じます(7秒)
- ④ 入れた力を抜いて、口の周りの感触を感じます(10秒)

4、全身のリラクゼーション

- ① お腹に力を入れます(7秒)
- ② 力を抜いてリラックス。静かにゆっくりの息を吸いましょう(10秒)
- ③ 身体全体がリラックスして、重く感じますか。

5、特別な場所

- ① あなたの好きな場所、安全で、そして美しい場所を思い浮かべましょう
- ② あなたはそこで、好きなことをしているところを思い浮かべましょう
- ③ あなたの好きな人や動物と一緒にしましょう
- ④ あなたの選んだ好きな場所で、好きなことをして、楽しい時間を過ごしているところを思い浮かべましょう(15秒～30秒)
- ⑤ この特別な場所には、いつだって、望みさえすれば戻ってこられます。そこはあなたの特別な秘密の場所なのです。
- ⑥ さあ、頬にするように伸びをしましょう。はい、目を開けましょう。

SST

こんな時どうする？

名前()

イライラしたときの「心のコントローラー」を見つけよう

例	人に相談する	イライラすることや気になることを信頼できる人(友達・家族・先生など)に話す。人に話すと気が楽になる
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

イライラしたときや、ストレスを感じたときに、どんな方法でストレスを解消していますか？自分の「心のコントローラー」をたくさん見つけましょう。いくつおぼえましたか？

友達の「心のコントローラー」を聞いて、使ってみようと思うものを書きましょう

感情のコントロールを実践してみよう！

組 員 名 冊

自分で決めた対処法

日 ち	対 処 法	実践してみてもうだった？
/		

日 ち	対 処 法	実践してみてもうだった？
/		

日 ち	対 処 法	実践してみてもうだった？
/		

日 ち	対 処 法	実践してみてもうだった？
/		

日 ち	対 処 法	実践してみてもうだった？
/		

振り返り

--

SEL(Social and Emotional Learning)

社会性と情動の学習



これから先の進路で必要とされる力

社会的能力（基本的生活習慣）



- ① 聞く(聴く)、話す力
- ② 自分のこと、相手のことを理解する力(気づき)
- ③ 自分の言動を統制する自己コントロールの力
- ④ 規律を守る力(ルールを守る、時間を守る、忘れ物をしない)
- ⑤ 責任ある意思決定とそれを実行する力
- ⑥ 多様な人と良い関係を築き、協働する力
- ⑦ 人のために力を発揮しようとする意欲と実行する力

① 聞く(聴く)、話す力

聞く(聴く)

- ・話のポイントを理解して聞き取る
- ・察する(相手の気持ちや状況を想像して理解する)

話す

- ・気持ち(感情)を伝える
- ・考えをわかりやすく伝える

② 自己理解・他者理解(気づく)

自己理解

- ・自分の感情の変化への気づき
- ・根拠(理由)がある、自分の性格や得意・不得意の気づき(自己評価)

他者理解

- ・他者の立場に立った考え方ができる
- ・多様な人を認め、良好な関係を築ける力

③自分の感情・言動をコントロールする力

自己をコントロールする力

- ・ストレスマネジメント(イライラを対処、コントロールする力)

例 カツとなっても暴言暴力をしない、やり返さない、物や人に当たらない

- ・誘惑(欲求)に負けない(コントロールする)力

例 自分が好きなように行動したい、少くらい〇〇してもいいだろう
大声出したい、寝たい、自分が楽しければいい、勉強から逃げたい

- ・目標に向かって前向きに努力し続けられる力(ポジティブシンキング)

- ・失敗や挫折から立ち直る力(レジリエンス)

④ 規律を守る力

ルールやマナー、約束を守る力

- ・それぞれの場所でのルールやマナー、約束を守って発言や行動ができる力
- ・人を嫌な気持ちにさせず、迷惑をかけずに適切に発言や行動ができる力
- ・状況に応じて適した発言や行動を判断できる力

⑤責任ある意思決定と実行する力

責任ある意思決定力

- ・優先順位を、他者への影響を考慮して、結果を予想して判断・決定する
- ・誘惑や欲求に左右されることなく、判断・決定する力

⑥ 多様な人と良い関係を築き、協働する力

人間関係を築く・協働する力

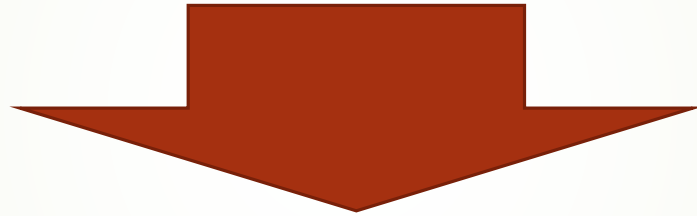
- ・悪口や陰口など、良くないことを一緒にやるような、良くない同調をしなければならぬような悪いつながりを断る力
- ・場面に応じた言葉や態度を適切に判断し、適切に表現する力
- ・誰とでも良い関係を築き、協力して一緒に活動できる力
- ・互いを上下や勝ち負けで優劣をつけない価値観

⑦人のために力を発揮しようとする意欲と実行力

自分で気づき、自分から行動する力

- ・自分から動くために、他者の感情や状況に気づく力
- ・見返りを求めず、自分から人のために行動したり、手伝ったりできる力

これらの力を高めるために
様々な内容を学活や総合、道徳の時間
その他短い時間で行っていきます！



力をつけるには、前向きな姿勢と、実践、
継続すること。これからの進路のために。
最初の進路は……来年度です！

令和7年度明海中学校校内研修会

「自ら答えを見出し、実践できる生徒の育成
—特別活動・総合的な時間を核として—」

ふるさと明海から世界へ羽ばたくグローバルな人材の育成へ
明海の子を明海で育て、そして、ふるさと意識の醸成

敬愛大学 土田雄一

本日の内容

- 1 本日の研究授業(渡部先生)
- 2 今後の研究について
これまでの研究を生かして
- 3 「実践する場」(学年ごと)の設定を
- 4 おわりに

こんにちは！「ENFP」の土田です。

MBTI (Myers-Briggs Type Indicator) とは

自己理解
を助ける
ツール

- MBTIは、**個人の性格を16タイプに分類する性格診断法**です。
- MBTIの基本
- 正式名称: MBTIは「マイヤーズ=ブリッグス・タイプ指標」の略で、心理学者カール・**ユングの理論**に基づいています。
- 目的: MBTIは、**自分や他者の性格の傾向を理解し、コミュニケーションや人間関係を改善するためのツール**です。優劣をつけるものではなく、**個々の「考え方や感じ方のクセ」**を知ることが目的です。
- 性格タイプ: MBTIでは、**4つの指標（外向性/内向性、感覚/直感、思考/感情、判断/知覚）**を組み合わせて、**16の性格タイプを定義**します。

指標

選択肢

意味

意識の方
向

E (外向) /
I (内向)

興味やエネルギーが外界（人・物）に向かうか、
内界（思考・感情）に向かうか。

ものの見
方

S (感覚) /
N (直観)

現実の五感で捉える情報（S）を重視するか、
可能性や抽象的な概念（N）を重視するか。

判断の仕
方

T (思考) /
F (感情)

論理や客観性（T）で判断するか、
価値観や共感（F）で判断するか。

ライフス
タイル

J (判断) /
P (知覚)

計画的で秩序立てて行動（J）するか、
柔軟で臨機応変に行動（P）するか。

高校生や大学生は「自己紹介」の時に使うことも

ちなみに私は「ENFP」

ENFP（運動家）のあなたは理想主義を大切にする上、**熱意と創造性にあふれていて、活力に満ちた存在**です。**頭の中には常にエキサイティングなアイデアや可能性が渦巻いていて、精力的に人生に臨むタイプ**なので、あなたのエネルギーに周りの人は巻き込まれていくでしょう。他者に心から関心があり、またカリスマ性があるので、自然と人をつなげるのが得意で、周りの人に多くのインスピレーションを与える傾向があります。

渡部先生の授業の前に

教室内の雰囲気がよい

生徒との関係性がよい

賞状が「額」に入っているのがよい→
重みがある

チャレンジする
気持ちが良い！

なすことによって学ぶ！

渡部先生の授業について

生徒と目的意識の共有

まず「SEL」の「プログラム」での取り組みはよい。
→意識の流れを大切に！自分で課題を意識できるとよい
エゴグラム(自己理解・自己開示・他者理解)の活用

「なやみ相談室・あなたはカウンセラー」などの「事例」への助言から話しやすくする

活動を増やす
自分ごとにするために

目的意識の共有
手がかりを生かす！

渡部先生の授業について

生徒と目的意識の共有

まず「SEL」の「プログラム」での取り組みはよい。
→意識の流れを大切に！自分で課題を意識できるとよい
エゴグラム(自己理解・自己開示・他者理解)の活用

「なやみ相談室・あなたはカウンセラー」などの「事例」への助言
から話しやすくする

活動を増やす
自分ごとにするために

目的意識の共有
手がかりを生かす！

渡部先生の授業について

指導案から

学級活動（２）

ア 自他の個性の理解と尊重、より良い人間関係の形成

SEL－8S (Social and Emotional Learning) 学習プログラムの中で提示されている8つの価値項目

- ① **自己への気づき** (自分の感情への気づき、自己の能力の現実的評価 等)
- ② **他者への気づき** (他者の感情の理解、他者の立場にたてる、多様な人の存在の承認 等)
- ③ **自己のコントロール** (情動のコントロール、挫折・失敗の克服、目標に取り組む能力 等)
- ④ **対人関係** (協力的で健全な関係づくり、対人関係での問題解決、好ましくない行為の拒否 等)
- ⑤ **責任ある意思決定** (選択肢と結果を考慮した意思決定、他者を尊重した決定、自己の決定に責任をもつ 等)
- ⑥ **生活上の問題防止のスキル** (自己の健康維持・管理・病気の予防、社会規範・法令を遵守 等)
- ⑦ **人生の重要事態に対処する能力** (立場や置かれた環境の変化に対処する力、家庭生活の課題解決と困難克服の力 等)
- ⑧ **積極的・貢献的な奉仕活動** (身近な他者を手伝う・支援する・援助する力 等)

指導案から

変化したのは
なぜ？

渡部先生の授業について

指導案から

題材の目標

- (1) 自己の長所や短所に気づき、自分を理解する。
- (2) 他者の意見に耳を傾け、参考にして考えを深め、意思決定する。
- (3) 他者を尊重し、適切な意見交換や協働作業を行う。

渡部先生の授業について

指導案から

本時の目標

もう少し具体的にしたい

① 仲間の意見を聴いて尊重し、それを参考に意思決定する。

ア. 自他の個性の理解と尊重、より良い人間関係の形成

例① 仲間の意見を聴いて自他の個性を理解するとともに尊重する態度を養う。

② エゴグラムもとに、自己理解を深め、今後の活動を考えることができる。

渡部先生の授業について

指導案から

【つかむ】

○アンケートの結果を共有する。

○自分のエゴグラムを振り返る

【課題提示】

自分のことを知り成長につなげるための手立てを考えよう！

渡部先生の授業について

指導案から

【さぐる】

○作成したエゴグラムをもとに自分の長所と短所を書き出す。

→①

○長所と短所についての原因を考察する。

【見つける】（グループを変えて2回実施）

4人グループにして他者から見た自分を確認しながら、アドバイスを聞く（理由を添えて）→②

渡部先生の授業について

指導案から

【決める】

○振り返りとアドバイスを参考に自分がこれからどんなことを実行していくかを決める。 → ③

○感想を記入する。 → ④

渡部先生の授業について

指導案から

日時	生徒の活動	指導上の留意点	評価規準（目指す生徒の姿）と評価方法
毎週金曜日に 自己評価 (3学期中)	長所を生かしているか、短所の克服に向けて実践しているかを振り返る。	決めたことを実践できているか、 自己評価を厳しく行う。	生活ノート提出時に振り返りプリントを提出する。 言動を見取り、その場で評価する。
3月の学活で自己評価する	自分の生活を振り返り、 自己評価 を行う。	本人の課題より、良い言動を多く伝えるときともに、進路につなげる。	自己評価用紙をもとに、本人から聞き取る。 普段の見取った様子を伝える。

研究について

令和6年度明海中学校区 グランドデザイン

ふるさと明海から世界へ羽ばたく

グローバルな人材の育成へ

明海の子を明海で育て、そして、ふるさと意識の醸成

◎ 相互理解・寛容

◎ レジリエンス

◎ Wellbeingな関係の醸成

「自分を好きになる」

「リスペクトアザーズ」

幼・小・中の
日常生活で育むもの

令和7年度明海中学校

【学校教育目標】

学ぶ喜びと 思いやりにあふれ、たくましく生きる生徒の育成
～絆と希望を胸に、夢の実現へ～

【目指す 生徒像】

1. 主体的に学ぶ生徒

2. 多様な価値観を認めながら、協働的に活動できる生徒

3. 心身の健康に留意する態度、折れない心をもつ生徒

【本年度の重点目標】

- 指導と評価の一体化による教育実践
- 集団や社会の形成者としての見方・考え方の育成
- 健康で安全な生活を実践する能力と態度の育成

【研究主題】

自ら答えを見出し 実践できる生徒の育成

(**問題発見・解決能力の育成**)

～特別活動・総合的な学習の時間を核として～

導入により、何を指
すのか？

【研究の内容及び方法】

特別活動 → 主に「構成的グループエンカウンター」を取り入れた 授業実践、授業改善

特別活動 → 生徒主体の話し合いによる学級活動、生徒会活動の構築

総合的な学習の時間 → 本校の実態に即したテーマ、探究 課題の設定および授業実践、授業改善

全教科領域 → 指導と評価の一体化に基づく資質・能力の育成
・デジタル教材やデジタルツールを効果的に使い、個別最適な学びや対話的・協働的な学びの実践

令和7年度研究の見通し

1年目

- ・先行研究や参考文献などにより、「特別活動」「総合的な学習の時間」の知見を深め、今後の研究の筋道をつける。
- ・「特別活動」「総合的な学習の時間」において資質・能力の育成への有効性を検討し、授業改善を行う。
- ・各教科について、指導と評価の計画に基づき授業実践。また、授業の有効性を検証し、計画の改善を図る。

研究・実践の評価をどうするか？

令和7年度研究の見通し

2年目

- ・ **1年目の成果と課題に基づき**、授業実践及び授業改善を行う。
- ・ 講師を招き、研究に対する知見を深め、さらなる授業改善を行う。
- ・ **授業公開の実施(県指定)**
- ・ 「特別活動」「総合的な学習の時間」のカリキュラムの完成

研究・実践の評価をどうするか？

令和7年度研究の見通し

3年目

- ・2年目の成果と課題に基づき、授業実践及び授業改善を行う。
- ・2年間の実践をもとに、再度検証を行い、育てたい資質能力についての手立ての充実を図り、3年間の研究のまとめをする。

社会性の育成

SEL－8S学習プログラム

Social and Emotional

Learning（通称SEL）は、

日本では「社会性と情動の
学習」

【SELで育成を目指す社会的能力】

1. 自己への気づき
2. 他者への気づき
3. 自己のコントロール
4. 対人関係
5. 責任ある意思決定
6. 生活上の問題防止のスキル
7. 人生の重要事態に対処する能力
8. 積極的、貢献的な奉仕活動

【問題発見・解決能力の育成のためのアプローチ】 ～総合的な学習の時間における「プロジェクト型学習 (PBL:Project Based Learning)」の導入～

プロジェクト型学習 (PBL:Project Based Learning) は、
問題解決型学習、または、課題解決型学習などとも呼ばれる。
PBLで取り組む問題は実社会に即したものであり、それらの
解決策を考察することで問題解決能力や思考力を育成する。

【総合的な学習の時間（PBL）とSELとの関連について】

① PBLを効果的にする基盤としてのSEL

A 自己理解、他者理解、自己管理：

B 対人関係スキル：

C 責任ある意思決定：

② SELを実践・強化する場としてのPBL

A 社会意識の向上：

B 自己認識：

相乗効果

令和7年度研究の見通し

1年目

- ・SELおよびPBLについての調査・研究
- ・日本PBL研究所主催によるPBLメッセへの参加
- ・**SEL-8研究会（代表：小泉令三）主催によるSEL-8教員等研修会への参加**
- ・**SEL先進校（広島県府中町立府中緑が丘中学校）視察**
- ・PBL校内研修（講師：元入船小学校 酒井正恵 主幹教諭）
- ・**SEL-8Sプログラムを導入した特別活動の実施**

研究・実践の評価をどうするか？

今後の研究について

2年目

- ・1年目の評価(成果と課題)をどう生かすか
- ・教員の課題意識の共有

①問題発見・解決能力を念頭に置いた特別活動(学級活動)の実施

- ・独自の特別活動(学級活動)のカリキュラム作成

②PBLを導入した総合的な学習の時間の実施

PBLを導入した総合的な学習の時間のカリキュラム作成

学校＋地域とかかわる

「**共通の思い**があること」＋「**行動(言動・体験)**があること」

教師のPBL

「社会参画」意識を育てる

PBLとして祭りに出店・出品

地域とのかかわり

- 「**思いやりのある大人との関係性**」
- 「**学校の諸活動への有意義な参加と貢献**」

明海中学校区の
連携活動

地域風土を創る(提案)

ふるさと意識・社会参画

祭りに出店・出品

教師は「伴走者」として

実践の振り返りと評価を意識して取り組む

「カリキュラム・マネジメント」による道徳教育の推進

※道徳授業＋他教科等

道徳授業＋特別活動の行事（体験活動）

道徳授業＋総合的な学習の時間（PBL・体験活動）

体験による「実感」と「発見」
「気づき」を大切に

おわりに

継続は力なり

明海中学校での
継続実践と
「評価」を

○研究への評価をどしていか

自ら答えを見出し 実践できる生徒の育成

(問題発見・解決能力の育成の成果をどう測るか)

○教師は「伴走者」を意識して

◎地域への愛着「シビックプライド」

◎「リスペクト・アザーズ」(特活で)

地域との関わりがな
くは育たない

生徒の人間関係能力を育てる取組 ～SEL-8Sの実践を通して～

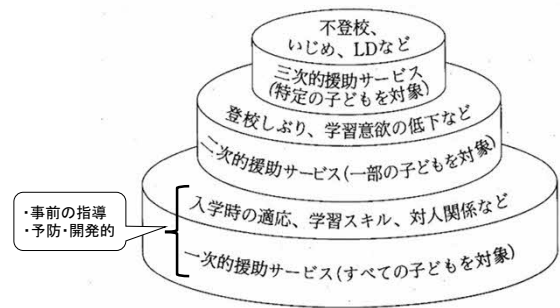
- 「社会性と情動の学習」(SEL)の必要性
- SEL-8Sの概要と実践例
- SEL-8Sの成果
- まとめ

小泉 令三
(福岡教育大学名誉教授)

© Reizo Koizumi

1

学校心理学における教育的ニーズと 心理教育的援助サービス

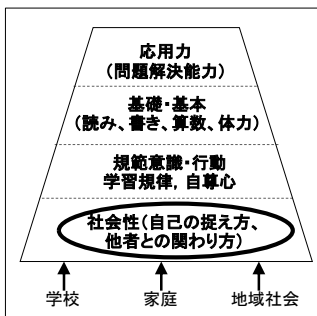


石隈利紀 (2007)

©Reizo Koizumi

学力・学校適応と人間関係能力の関係 (小泉)

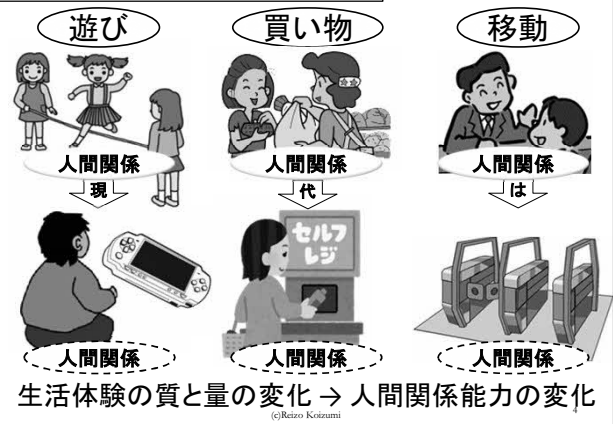
社会性(人間関係能力)が育まれることによって自尊心が高まり、規範意識・行動や学習規律が身につく。それによって、基礎・基本の学習が成立し、さらに応用力を身につけ、学校生活に適応することができるようになる。



社会性と情動の学習 (SEL-8S) の導入と実践 (ミネルヴァ書房, 小泉, 2011)
(c)Reizo Koizumi 3

子ども達を取り巻く環境の変化

©2014 Mifuchi



©Reizo Koizumi

社会性を育成するには

- 従来は、家庭や地域社会で、社会性を身につける機会や場面が提供されていた
例: 遊び, 買い物, 交通手段……
- 現在は、意図的・計画的に育成する必要あり
→ 社会性と情動の学習 (SEL)
Social and Emotional Learning
自己の捉え方と他者との関わり方を基礎とした、対人関係に関するスキル、態度、価値観を育てる学習 (多くの教育プログラムの総称)

©Reizo Koizumi

5

SELとCASELとSELプログラムの関係(アメリカ)

アメリカ及び日本で、成績向上や問題行動減少などの成果がレビュー論文で報告されている。アメリカではさらに、経済効果が大きいとの論文も出ている。



小泉令三(2023) 社会情動的(非認知)能力の発達とソーシャル・エモショナル・ラーニング(SEL)の実践 - 学習支援及びメンタルヘルスへの貢献- 指定討論 教育心理学年報, 62, 235.

©Reizo Koizumi

「生徒指導提要」で紹介されている“新たな手法等”
(2010年旧版, p.109)

- ・ (構成的)グループエンカウンター
- ・ ピア・サポート活動
- ・ ソーシャルスキルトレーニング
- ・ アサーショントレーニング
- ・ アンガーマネジメント
- ・ ストレスマネジメント教育
- ・ ライフスキルトレーニング

知識とスキル(技術, コツ)の習得を目指している

(注)これらはすべて「**社会性と情動の学習**」(social and emotional learning = SEL)として位置づけることができる。

SEL-8Sでねらいとする8つの能力

(Social and Emotional Learning of 8 abilities at the School)

<基礎的な社会的能力> ※多数のSELプログラムの中の一つのプログラム

- 自己への気づき
- 他者への気づき
- 自己のコントロール
- 対人関係
- 責任ある意思決定

<応用的な社会的能力>

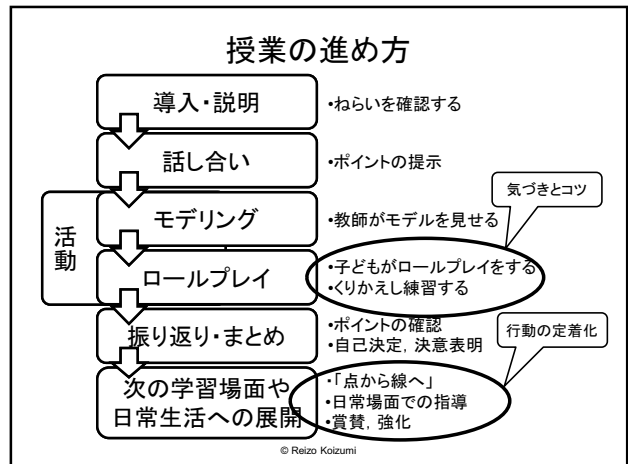
- 生活上の問題防止のスキル
- 人生の重要事態に対処する能力
- 積極的, 貢献的な奉仕活動

社会性と情動の学習(SEL-8S)の導入と実践(ミネルヴァ書房, 小泉, 2011)
© Reizo Koizumi

SEL-8Sの8つの社会的能力と学習領域との関係(中学校)

学習領域 \ 社会的能力	基本的生活習慣	自己他者の気づき	伝える	関係づくり	ジメント	ストレスマネ	問題防止	進路	ボランティア
自己への気づき		○		○	○			○	
他者への気づき		○		○					○
自己のコントロール	○	○	○		○	○			
対人関係	○	○	○	○				○	
責任ある意思決定	○		○				○	○	
生活上の問題防止のスキル							○		
人生の重要事態に対処する能力								○	
積極的・貢献的な奉仕活動									○

(c)Reizo Koizumi 9



能動的な学習を支える力

○他者と関わる力 (←教室での学びに必要)

- ・他者の話を聞き, 理解する。
- ・自分の考えを伝える。
- ・互いの意見を交流する。
- ・他者との調整(意見, 利害など)

○自分をマネジメントする力

- ・感情・情動のコントロールやマネジメント
- ・時間, 金銭, 必要物品の管理

(c)Reizo Koizumi

感情の認知: 感情語の獲得

このところ、小学4年生の娘が寝る前に私の部屋へ話しに来る。話題は学校の人間関係だ。

その日は学校で、友だちに「あなたがやってよ」と、プリントを集める作業を無理に押しつけられたという。「どんな気持ちだった?」と聞くと、娘は答えた。「頭がぼーっとして後の授業が聞けなかった。あの子は自分がそうされたらどう思うのか考えた」

彼女はもやもやしている。「ふーん。それ、ショックを受けて悲しかったんじゃない? それからちょっとムカついたのかもね」と私が言うと、「そうかも!」とうなずく。

「友だちに一方的なことであれば、ショックで悲しいのは当然だよ。ムカついちゃうのも当たり前」。「そっかあ」と娘は少しスッキリした様子だった。(一部, 省略)

(貴戸理恵の十人十色) 一生続く悩みだから 朝日新聞 2019.11.20 朝刊

© Reizo Koizumi

「自分の体で好きなところ」



〇〇が△△


(中A1
「どうぞよろしく」)

©Reizo Koizumi

能動的な学習を支える力

○自分をコントロール&マネジメントする力
(←基本的生活習慣に必要)

道具管理のポイント

ば (置く)場所を決める	
ず (不要な物は捨てる)	
く グループ分けをする	
も (使ったら)元に戻す	

©Reizo Koizumi


能動的な学習を支える力

○他者と関わる力 (←教室での学びに必要)

フレーン・ストーミングのポイント

グループで話し合う時は、**ヒカジリ**を注意しましょう!

ひ 批判厳禁	どんな意見でも最後まで聴こう!!
か 改善発展	友だちのアイデアを参考にしてもOK!!
じ 自由に発想	どんなアイデアでも大歓迎!!
り (質より)量	たくさんアイデアを出すことが大切!!



©Reizo Koizumi

“聞く”(聴く)の3つのレベル

- ① 物理的に音が入ってきている。
音を認識していないこともある...
- ② 聞いて情報を得ている。
- ③ 情報だけでなく、感情を認知している。


©Reizo Koizumi

中2(B1)
「“聞く”と“聴く”」

正しい聞き方のポイントは、

アカメのウサちゃん

あ	あいづちを打つ
た	体を向ける
ま	目を見る
な	うなづく
は	最後まで話を聞く




©Reizo Koizumi

冷静に伝える

<こころの信号機>を
使おう

- まずは一呼吸する
- “ひよっとしたら” “もしかして”の
状況分析
- 適切な行動を考える
「Iメッセージ」



©Reizo Koizumi

中C4 冷静に伝える

「You メッセージ」と「I メッセージ」

① 友だちにメールを送ったのに、いつまでたっても返信がない。

- なんですぐ返信しないの。
- 冷たいな。
- 少し心配だな。
- 何かあったかと気になった

You

I

(c)Reizo Koizumi

21

冷静に伝える

「You メッセージ」と「I メッセージ」

② 友だちに貸したマンガが、いつになっても返ってこない。

You

I

(c)Reizo Koizumi

22

実践例

中学1年生での「トラブル解決学習」

■ 中学1年生の学級担任の先生の場合

- ・今度、クラス・マッチがある
(サッカー、バレー・ボール)
- ・盛り上がるが、必ず問題が起こる・・・
「あの班がいるから、うちのクラスは・・・」

(c)Reizo Koizumi

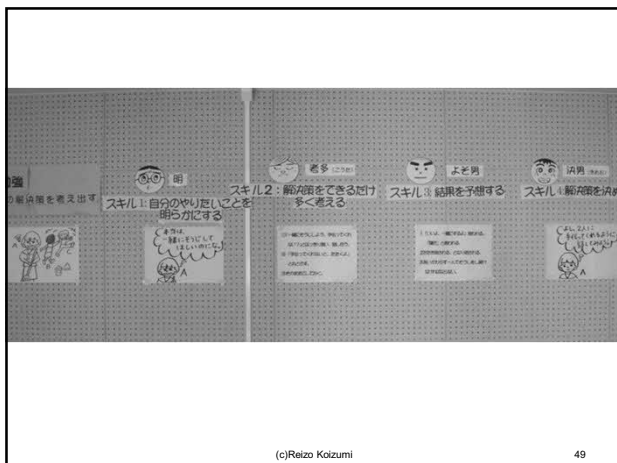
24

トラブル解決のための4ステップ

- 1 自分のやりたいことを明らかにする。
- 2 解決策をできるだけ多く考える。
- 3 結果を予想する。
- 4 解決策を決める。

(c)Reizo Koizumi

25



(c)Reizo Koizumi

49



©2013 Kinoshita & Yamada (c)Reizo Koizumi

50

練習プリント

■ こんな時どうする？

同じ学級の友達の一人があなたに腹を立てているようです。しかしあなたには理由が思い当たりません。その人とはそれほど親しい仲ではないのですが、放っておいたら、ますます悪い雰囲気になってきました。

(c)Reizo Koizumi

51

スキル1:問題をどうしたいか？(良い関係に戻す)

スキル2:解決策をできるだけ多く考える

解決策1	解決策2	解決策3	解決策4

スキル3:結果を予想する

結果1	結果2	結果3	結果4

スキル4:解決策を決める

(c)Reizo Koizumi

53

12月の生徒アンケート (人)

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組
とても楽しい	18	11	32	10	8	15	6
楽しい	16	21	4	22	20	19	24
あまり楽しくない	2	2	0	2	6	0	4
全く楽しくない	0	0	0	0	0	1	1
無回答	0	0	0	0	0	0	1

(c)Reizo Koizumi

55

SEL-8Sプログラムに関する教師の感想

- 生徒指導の中で、教師が大切だと考えている事柄を、授業を通して子どもに理解させることができた。
- SEL-8Sプログラムの実施が、子どもの落ち着いた生活に役立っている。
- 子どもが日常生活で直面するような具体的な活動が多いため、日常生活に活かすことができている。

(c)Reizo Koizumi

59

A 中学校での4年間 (H27~30) の実践 生徒指導の状況

問題行動と不登校生徒が減少

問題行動の状況

	H27	H28	H29	H30
件数	153	112	107	47

不登校生徒数 (全校生徒に対する割合)

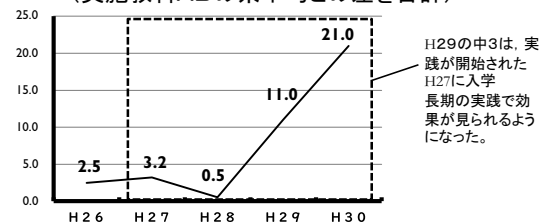
	H27	H28	H29	H30
人数	34 (5.4%)	22 (3.6%)	21 (3.5%)	18 (3.3%)

小泉令三(2020).公立A中学校の4年間にわたる社会性と情動の学習「SEL-8Sプログラム」の実践—アンカーポイント補え込み法の観点からの検討— 福岡教育大学紀要, 69(6), 53-60.

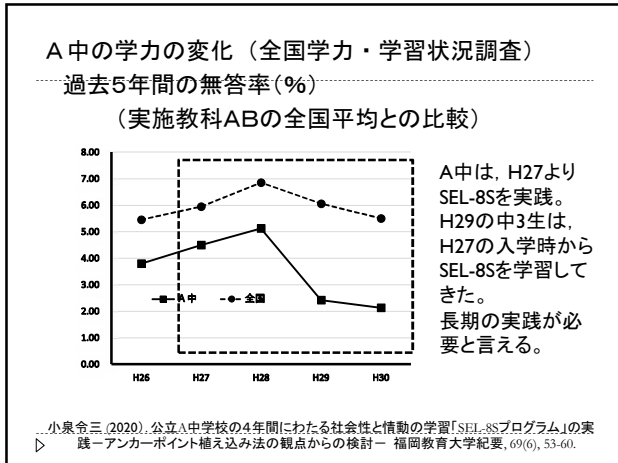
A 中の学力の変化 (全国学力・学習状況調査)

学力が向上した

(実施教科ABの県平均との差を合計)



小泉令三(2020).公立A中学校の4年間にわたる社会性と情動の学習「SEL-8Sプログラム」の実践—アンカーポイント補え込み法の観点からの検討— 福岡教育大学紀要, 69(6), 53-60.



授業の留意点

導入・説明のポイント

- ロールプレイや話し合い、発表などがスムーズにできる環境をつくる。(学習の約束)
- この授業のねらいを明確に示す。
- この授業を行う意味を説明し、子どもを動機づける。

ロールプレイのやくそく

- ① じゃまをしない
- ② ふざけない、ひやかさない
- ③ 全員で参加して協力する
- ④ グループの話し合いを大切に

学習の約束(S中学校)

- ① 自分自身を振り返りながら考えよう。
- ② ふざけてやらないこと。
- ③ 友達のやっているのを見て、よいところを見つけられるようにしましょう。よいところを見つけたら、友達に伝えよう。

(c)Reizo Koizumi 64

授業の留意点

日常生活への展開

- 学習した内容を掲示する
- 学習したスキルを使える場を設定する
 - 朝の会、帰りの会
 - 家庭学習(宿題)
- 学習したスキルを日常場面で使っていたら、しっかりほめる

(c)Reizo Koizumi 66

「点から線へ」: 学校行事や他の学習との関連づけ

小: 外部講師による「薬物乱用防止教育」	→	小F8「絶対ダメ!」薬物乱用の誘いの断り方学習
小D4「みんなで力を合わせて」	→	小: 学習発表会の発表内容決定の話し合い
中C5「上手な教え方」 下級生への上手な指導や助言方法の学習	→	中: 体育祭での縦割りグループでの上級生としてのリード
中: 職場体験学習とその振り返り	→	中G2「私の“夢”」 進路選択の手順を確認し、「進路決定プロセス」を作成する。

(c)Reizo Koizumi

スマホの利用に関する有効な予防教育

社会的能力

↓

- ・自尊心
(自らを価値ある存在と認める態度)
- ・規範意識

+

犯罪や問題行動に関する科学的知識

⇒

問題行動の被害・加害の予防

- ・規範行動

例

- 自己の行動を振り返る力, 他者の痛みの認知,
- 時間, 金銭の管理能力
- 自分を大切にしようとする思い
- 他者を尊重する規範意識

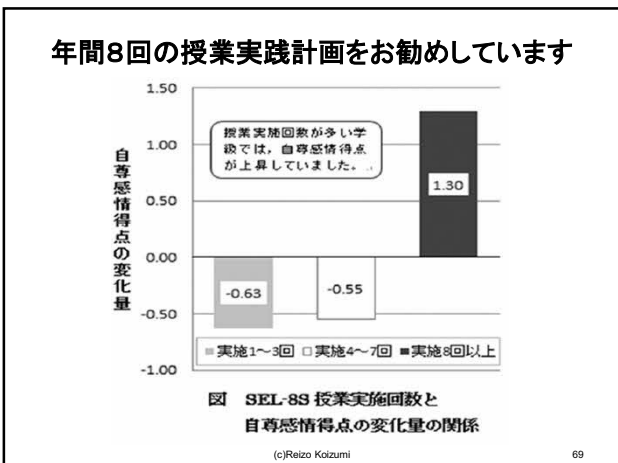
+

スマホ等の危険性, 利用時の注意点

⇒

スマホ等の適切な使用

(c)Reizo Koizumi



本日のポイント

- 人間関係能力(社会性)が、子どもの学校適応の基礎部分にあると考えられる
 - ★ 生活体験の変化、対人関係の経験減少
- 社会性の育成には、気づきを促し、コツを教えるために、社会性と情動の学習「SEL-8S」プログラムを利用できる
 - ★ “基礎体力づくり”, 8つの社会的能力
- SEL-8Sの長期的実践で教育効果が見られる
 - ★ 問題行動の減少, 課題状況の改善, 学力の向上
- SEL-8Sの導入と展開のポイント
 - ① 試行とそこでの教師の手応え
 - ② 「点から線へ」の指導計画
 - ③ 組織的な取組と教育課程への位置づけ

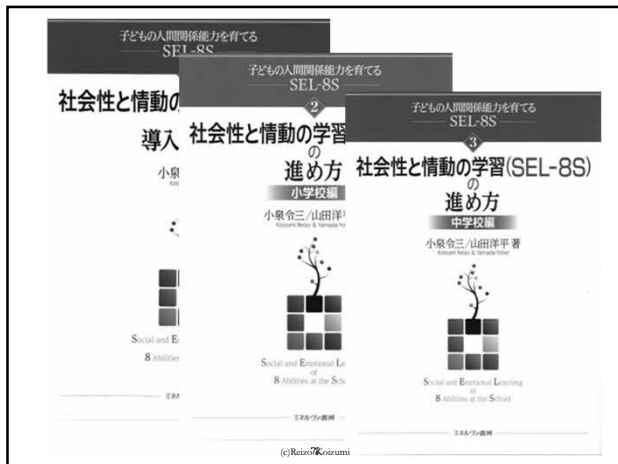
SEL-8Sの理解と実践のために

「子どもの人間関係能力を育てるSEL-8S」
(全3巻 ミネルヴァ書房 刊行 2011年9~11月)

- ① 社会性と情動の学習(SEL-8S)の導入と実践
- ② 社会性と情動の学習(SEL-8S)の進め方
— 小学校編 —
- ③ 社会性と情動の学習(SEL-8S)の進め方
— 中学校編 —

(c)Reizo Koizumi

71



ご参考までに

「紙芝居作成ブック
子どものきもちを育む♪CD-ROM付き」
世界文化社

幼児用の社会性と情動の
学習プログラム(SEL-8N)です。



「教師のための社会性と情動の学習
(SEL-8T)
～人との豊かなかかわりを築く
14のテーマ～」
ミネルヴァ書房

(C)Reizo Koizumi

耳寄りな情報！

ホーム・ページで次のようなものが得られます。

<https://sel8group.jp/>

(エス・イー・エル)

「SEL-8S(小中学生用)について」を選択

- ・ユニットごとの授業用資料(プリント, ポスター)
- ・評価用資料(アンケート用紙, 結果集計ソフト)
- ・保護者用ワークショップ資料(小学校)
- ・Q&Aコーナー

(c)Reizo Koizumi

74

ホームページでの情報提供

SEL-8研究会

office@sel8group.jp
更新日 2024年9月1日

SEL-8S(小中学生用)について SEL-8N(幼児用)について SEL-8T(教師用)について SEL-8S(小中学生用)について SEL-8N(幼児用)について SEL-8T(教師用)について 書籍・論文 スタッフ募集のお知らせ



SEL-8研究会について

SEL-8研究会では、対人関係力と自尊感情を育成するための「社会性と情動の学習(SEL)」プログラムの開発と実践を行っています。現在、幼児期の子どもを対象とした「SEL-8N」、小中学生を対象とした「SEL-8S」、高校生を対象にしたキャリア発達を促す「SEL-8C」、福祉教育機関の児童生徒を対象とした「SEL-8D」、教員および教職志望学生を対象とした「SEL-8T」を開発し、その効果を検証しています。また、効果の検証では、対人関係力を客観的に測定できる手法を使っています。

75

ホームページでの教材の提供 (学習プリント, ポスターなど)

SEL-8 研究会

office@sel8group.jp
発行日: 2021年4月2日

トップページ SEL & SEL 8.7.8 活動・研修情報 活動場高 SEL 8.9 (国語)について SEL 8.5 (小中学生)について
SEL 8.6 (英語)について SEL 8.0 (情報活用)について SEL 8.1 (数算)について 書籍・論文 スタッフ & 関係者紹介

トップ > SEL 8.6 (小中学生)について > 小学校用授業資料

小学校用授業資料

SEL8の書籍(小学校版)に掲載されている授業プリントや図表などのPDFファイルをダウンロードすることができます。該当する学習ユニットのプリントをダウンロードして、ご使用ください。なお、学習プリントは英訳文など書き換えができるようWord版も用意していますので、ご活用ください。
※ 授業資料の転載および営利目的の利用はご遠慮ください。

学習ユニット	PDF (一部、Word版あり)
A1 「おはようございます」	「おはようございます」プリント (PDF / Word) おはようカード (PDF / Word) 「あいさつのポイント」ポスター (カラー/カラーがな付 / 白黒/白黒がな付)
A2 「チャイムのあいさず」	「チャイムのあいさず」プリント (PDF) 紙芝居①～③ (PDF) 「休み時間の約束」ポスター (カラー/カラーがな付 / 白黒/白黒がな付)

76

ホームページでの教材の提供

◆絵①
部活動の練習中、A君が突き指をしてしまいました。顧問の先生が出張でいなかったため、副顧問の先生に付き添われてA君は病院に行きました。部活終了時、顧問の先生が出張から帰ってきました。A君がいない理由を、おなたから先生に説明してください。



中C1「わかりやすく伝えよう」

ホームページでのアンケートと 集計ソフトの提供 (小3～高校)

各種ファイル 必要なファイルをダウンロードしてください。

尺度名	アンケート用紙	集計ソフト
①SEL 8 7つの能力	小学校用 中学校用	自己評定 (a) 小学校用 中学校用 自己評定と (c) 教師評定の比較用 (d) 小学校用 中学校用
②規範行動	小学校用 中学校用	小・中学校用
③自尊感情	小学校用 中学校用	小・中学校用

(Windows 7およびWindows 8.1で動作を確認済みです)
※(c)および(d)は、児童生徒による自己評定と教師による評定を両方集計できる集計ソフトです。児童生徒自己評定と教師評定の両方比較することができます。

<アンケート実施・結果出力の手順>
①アンケート用紙の準備

78

ホームページでのアンケートの提供

① 学校生活についてのアンケート

小学校 年 組 番 (男・女)

名前

①このアンケートは、日々の生活をどのように過ごしているかたずねるものです。
②このアンケートはテストではありません。正しい答えやまちがった答えはありませんので、ありのままに答えてください。
③次の質問を読んで、自分の考えに一審あてはまるもの一つだけ選んで、1から4の数字に○をつけてください。

(1) あなたは、自分の身の回りの整理・整頓を、きちんとしていますか。
4 いつもしている 3 だいたいしている 2 あまりしていない 1 まったくしていない

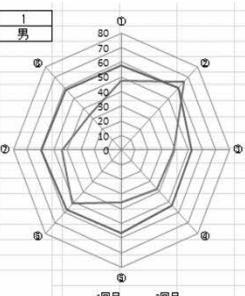
「規範意識・規範行動」のアンケート

ホームページでの集計ソフトの提供

学年	3	組	1	番	1
氏名	福岡	太郎	性別	男	

◆アンケート結果

評価項目	1回目	2回目	備考
① 自己への気づき	47.4	57.6	
② 他者への気づき	65.6	60.1	
③ 自己コントロール	39.0	52.3	
④ 対人関係	37.4	53.4	
⑤ 責任ある意思決定	35.4	56.3	
⑥ 生活上の困難解決のためのスキル	51.8	57.4	
⑦ 人々の意思決定に与える能力	44.3	59.5	
⑧ 規範的・賢能的な社会活動	33.6	58.3	



※ 各値は、同学年の1回目の平均点・標準偏差をもとに算出した偏差値を示しています。
※ 偏差値が40より低い場合は、値が青色になっています。
※ 備考欄に(+)が記載されている場合は、その評価項目の「1回目」の教師は回答履歴などにより、見当違いになっています。(P2)の場合は、「2回目」の教師

「SEL8つの能力」尺度の集計結果(個人)
偏差値で表示、1回目と2回目の比較が可能

(c)Reizo Koizumi

提案: 評価方法について

(1) 授業ごとの達成度評価

① 必須のスキルの理解度 (例: 語呂合わせの言葉等)
② スキルの利用可能性 (例: ロールプレイがうまくやれた)
③ スキルの使用意欲 (例: これから使いたい)

↓ 実施例

表1 「相手はどんな気持ち」の児童振り返りの回答 (人)

質問項目	A	B	C	D
①スキルのやり方の理解(「シカのコマ」のやり方はわかりましたか)	わかった 89	まあまあ 19	あまり 0	わからなかった 0
②日常でのスキル使用可能性(日常生活で「シカのコマ」を使うことができそうですか)	できる 61	まあまあ 47	あまり 0	できない 0
③スキルの使用意欲(「シカのコマ」を使ってみたいと思いませんか)	使いたい 72	まあまあ 34	あまり 1	使いたくない 1

(注) AまたはBが、授業のねらいに達している回答

(2) 自己評価+行動面での変容(問題事象, 学力など)

(C)Reizo Koizumi

SEL-8S の中学校内容構成案

	A 基本的生活習慣	B 自己・他者への気づき・聞く	C 伝える	D 関係づくり	E ストレスマネジメント	F 問題防止	G 進路	H ボランティア
1年	(A1)同級生へのあいさつ「どうぞよろしく」 (A2)規範遵守「私たちの校則」	(B1)他者理解「“聞く”と“聴く”」	(C1)意思伝達「分かりやすく伝えよう」 (C2)意思伝達「はっきり断ろう」	(D1)協力関係「いろんな意見」 (D2)問題解決「友達が怒っちゃった!？」	(E1)ストレス認知&対処「ストレスマネジメントⅠ」	(F1)万引き防止「ダメ!万引き!」 (F2)喫煙防止「タバコってかっこいい?」	(G1)自己理解「“私”のいいところ」	(H1)学校でのボランティア「学校でのボランティア?」
2年	(A3)時間管理「時間を大切に」 (A4)整理整頓「道具の管理」	(B2)自己理解「短所を乗り越える!」	(C3)非言語による伝達「しぐさや態度のコミュニケーション」 (C4)感情伝達「冷静に、伝える」	(D3)携帯電話「顔の見えないコミュニケーション」 (D4)問題解決「ストップ!はじめ」	(E2)ストレス認知&対処「ストレスマネジメントⅡ」	(F3)精神衛生「ポジティブに考えよう!」 (F4)薬物乱用防止「他人事じやない!シンナー&覚せい剤」	(G2)進路選択「私の“夢”」	(H2)地域でのボランティア「地域でのボランティア」
3年	(A5)下級生や大人へのあいさつ「状況に応じたあいさつ」 (A6)金銭管理「“見えないお金”の使い方」	(B3)他者理解「“私”への思い」	(C5)意思伝達「上手な教え方」 (C6)意思伝達「初対面での話し方」	(D5)関係維持「携帯電話のマナー」 (D6)協力関係「クラスの友だち」	(E3)サポート希求「ストレスマネジメントⅢ」	(F5)性教育「恋愛と責任」 (F6)健康教育「大っぴら?やせてる?」	(G3)進路決定「私が進む道」	(H3)学校でのボランティア「最高学年になって」
内容構成案のテーマ	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ 規範遵守 時間管理 整理整頓 金銭管理 	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解 他者理解 	<ul style="list-style-type: none"> 感情伝達 意思伝達 非言語による伝達 	<ul style="list-style-type: none"> 協力関係 問題解決 携帯電話 	<ul style="list-style-type: none"> ストレス認知 ストレス対処 サポート希求 	<ul style="list-style-type: none"> 万引き防止 喫煙防止 精神衛生 薬物乱用防止 性教育 健康教育 	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解 進路選択 進路決定 	<ul style="list-style-type: none"> 学校でのボランティア 地域でのボランティア